

2015年3月25日

各位

会社名 住友金属鉱山株式会社
代表者名 代表取締役社長 中里 佳明
(コード番号 5713 東証第1部)
問合せ先 広報 IR 部 青野 祥紀
(TEL. 03-3436-7705)

子会社におけるタンタル酸リチウム／ニオブ酸リチウム基板の生産設備増強について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 中里佳明）は、情報通信端末用 SAW フィルターのチップに用いられるタンタル酸リチウム基板およびニオブ酸リチウム基板（以下、LT/LN 基板）の更なる増産のために、住友金属電子株式会社および大口径電子株式会社において生産設備を増強することを決定しました。

当社は、SAW フィルター*のチップに用いられる LT/LN 基板を製造・販売しております。近年の急速な市場拡大に対応するため、2014年12月18日に開示したとおり 100%子会社である住友金属電子株式会社（北海道岩内郡共和町、代表取締役社長 伊関聡）および青梅事業所（東京都青梅市）での生産設備増強を決定しました。

しかし、その後も SAW フィルターメーカー各社から増産要請が相次いでいることから、この度、住友金属電子株式会社での更なる設備増強に加え、100%子会社である大口径電子株式会社（鹿児島県伊佐市、代表取締役社長 柳沼希世史）に新たな LT/LN 基板の生産設備を設置することとしました。これにより当社の LT/LN 基板の生産能力は、21万枚/月（2014年12月に決定した増強投資分を含む）から 30万枚/月に増加します。

今回の設備投資額は約 40 億円を計画しております。増強工事は 2015 年 4 月から着工し、全ての設備が完成するのは 2016 年 10 月を予定しています。なお、生産量は設備が完成次第順次拡大していきます。

当社は、約 30 年に亘る LT/LN 基板の製造・販売の実績および単結晶育成からウェハー加工までの一貫した生産技術を有する強みを活かし、LT/LN 基板市場で更なる成長をめざしてまいります。

以上

参考：SAW（Surface Acoustic Wave）フィルター

特定の周波数帯域の電気信号を取り出すデバイスでスマートフォンなどの情報通信端末に組み込まれます。近年は、スマートフォンやタブレット端末などの急速な市場の伸びに加え、通信の高速・大容量化による 1 台あたりの使用個数の大幅増加により需要が急速に拡大しています。